



令和5(2023)年度 とちぎの元気な森づくり県民税事業 評価報告書(案)

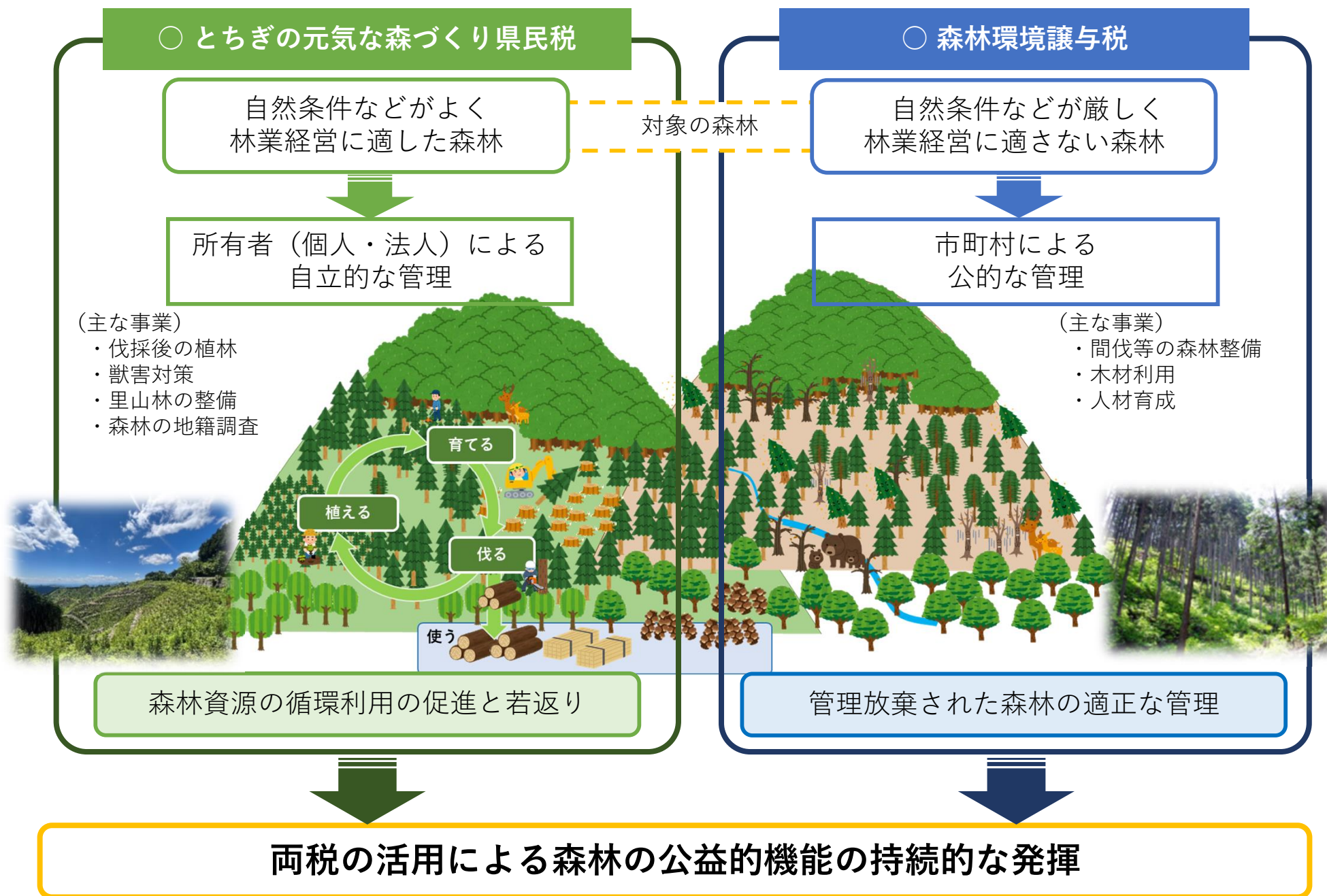
令和7(2025)年 1月
とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

目次

1	とちぎの元気な森づくり県民税と森林環境譲与税による森林整備の取組	2
2	とちぎの元気な森づくり県民税事業の実績	3
(1)	基金及び財源	3
(2)	各事業の実施状況	4
ア	とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業	4
イ	とちぎの元気な森づくり里山林整備事業	6
ウ	とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業	8
エ	とちぎの元気な森づくり県民会議等事業	9
オ	とちぎの元気な森づくり地域活動支援事業	9
カ	各事業の実施状況一覧	10
(3)	森林の若返りと公益的機能の効果	11
ア	森林の若返りの実績	11
イ	森林の若返りによる公益的機能の効果	12
3	森林環境譲与税の実績	13
(1)	森林環境譲与税の執行状況	13
(2)	森林環境譲与税事業の実施状況	14
4	評価結果	16
(1)	両税の一体的評価	16
(2)	とちぎの元気な森づくり県民税事業の評価	16
ア	とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業	16
イ	とちぎの元気な森づくり里山林整備事業	17
ウ	とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業	17
(3)	森林環境譲与税事業の評価	18
(4)	使途（取組内容）・両税の事業一覧	19
(参考)	県民意識調査結果	20
○	とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会委員名簿	21

1 とちぎの元気な森づくり県民税と森林環境譲与税による森林整備の取組（すみ分けイメージ）

【両税を活用した森林整備イメージ】



2 とちぎの元気な森づくり県民税事業の実績

(1) 基金及び財源

ア とちぎの元気な森づくり基金の状況

(単位：千円)

令和4年度末残高 A	積立額 B	取崩額 C	令和5年度末残高 A + B - C
1, 551, 716	905, 629	977, 233	1, 480, 112

【積立内訳】

(単位：千円)

区分	R4 (2022)	R5 (2023)	増減
とちぎの元気な森づくり県民税 税収相当額等	888, 514	900, 177	11, 663
寄附金	4, 620	5, 059	439
返還金	499	338	▲ 161
利子	54	55	1
計	893, 687	905, 629	11, 942

イ とちぎの元気な森づくり事業

1, 693, 737 千円

【財源内訳】

とちぎの元気な森づくり基金繰入金

977, 233 千円

国庫補助金等

716, 504 千円

※金額は千円単位四捨五入のため内訳が合わない場合がある

(2) 各事業の実施状況

ア とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業

◆ 事業実績

事業量	整備面積	486 ha	※植栽面積
事業費	1,426,481 千円	(うち県民税	791,517 千円)

◆ 事業内容

(ア) 再造林・樹種転換促進事業（国庫補助事業の施行地を含む）

① 造林事業

針葉樹の皆伐後の地拵え、植栽、下刈りを行い、再造林及び、広葉樹への樹種転換を進めました。

区 分	面 積	市 町
地拵え、植栽	486ha	13市町
下刈り	1,632ha	16市町

② 路網整備事業

植栽を行うための作業道を開設し、植栽後の下刈りなどの保育管理にも活用しました。

区 分	事業量	市 町
森林作業道	42,673m	7市町

③ 獣害対策促進事業

植栽した苗木への薬剤の散布等によりシカからの食害を防止しました。また、成木の幹にネットを巻いてクマ等による皮剥き被害を防止しました。

区 分	面 積	市 町
食害対策	596ha	9市町
剥皮対策	226ha	4市町

(イ) 次世代林業技術検証事業

低コスト林業のための大苗木植栽等の検証を行いました。

(ウ) 事業推進費

事業施行に必要な審査等を行いました。

◆ 今後の課題

今後も森林の若返りを着実に進めていくため、施行地の集約化の促進、生産性向上に向けた取組及び獣害に苦慮する地域への対策

① 造林事業



③ 獣害対策促進事業



イ とちぎの元気な森づくり里山林整備事業

◆ 事業実績

事業量	2,038 ha	整備面積	711 ha
		管理面積	1,327 ha
事業費	161,410 千円（うち県民税 99,592 千円）		

◆ 事業内容

(ア) 里山林整備事業

① 地域で育み未来につなぐ里山林整備事業

地域の提案による里山林の整備を通じ、継続的な管理や活用を支援しました。

② 通学路等の安全・安心のための里山林整備事業

通学路等に隣接する里山林の見通しを確保するため、安全・安心な環境づくりを支援しました。

③ 野生獣被害軽減のための里山林整備事業

野生獣被害の軽減のため、田畑に隣接する里山林の整備・管理に対して支援しました。

④ 森林・山村多面的機能発揮対策事業

森林の多面的機能を発揮させるため、里山林の保全・整備、地域活性化への取組に支援しました

(イ) 里山林管理事業

第1期(平成20～29年度)で整備した里山林の管理活動に対し支援しました。

区 分	面 積	市 町
(1)里山林整備事業	711ha	22市町
① 地域で育み未来につなぐ里山林整備事業	88ha	15市町
② 通学路等の安全・安心のための里山林整備事業	22ha	4市町
③ 野生獣被害軽減のための里山林整備事業	157ha	11市町
④ 森林・山村多面的機能発揮対策事業	444ha	16市町
(2)里山林管理事業	1,327ha	15市町
計	2,038ha	23市町

※ 面積は、四捨五入のため内訳と計が一致しないことがある

※ 市町計は、実市町数

◆ 今後の課題

担い手の高齢化、後継者不足といった地域の実情に即した対応

① 地域で育み未来につなぐ里山林整備事業



② 通学路等の安全・安心のための里山林整備事業



③ 野生獣被害軽減のための里山林整備事業



③ 野生獣被害軽減のための里山林整備事業

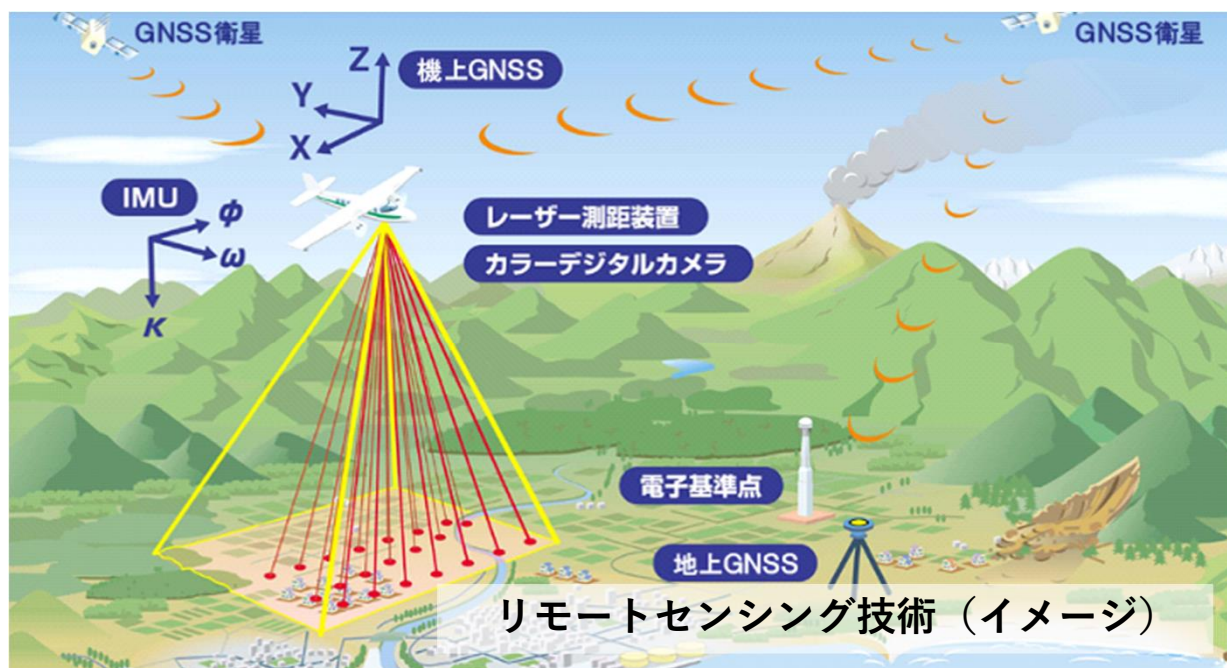


◆ 事業実績

事業量	地籍調査	387	ha (	2	市町)
事業費		88,770	千円 (うち県民税	69,048	千円)

◆ 事業内容

境界等の不明確な森林について、栃木県森林組合連合会によるリモートセンシング技術（航空レーザ計測）を活用した地籍調査（387ha … 2市町：栃木市、那須烏山市）に対し、支援を行いました。



◆ 今後の課題

今後も航空レーザ計測等デジタル技術の活用により、林地の地籍調査を円滑かつ迅速に推進

エ とちぎの元気な森づくり県民会議等事業

◆ 事業実績

事業量	新聞等広告	3 件
事業費		5,718 千円

◆ 事業内容

(ア)とちぎの元気な森づくり県民会議事業

県民協働の森づくりの推進母体である「とちぎの元気な森づくり県民会議」の活動を支援しました。

- ・ 栃木県誕生150年記念作文コンクールの開催
- ・ 1日環境森林部長体験の実施
- ・ 木工工作コンクールの開催 等



作文コンクール授賞式



1日環境森林部長体験
(辞令交付式)



木工工作コンクール
(審査会)

(イ)とちぎの元気な森づくり普及啓発事業

県民税事業の成果等について新聞広告等をとおして普及啓発等を行いました。

区 分	回 数
新聞広告	1 件
テレビ広告	1 件
ラジオ広告	1 件
計	3 件



新聞広告

オ とちぎの元気な森づくり地域活動支援事業

◆ 事業実績

事業量	1 式
事業費	11,358 千円

◆ 事業内容

(ア) 森づくりサポート事業

里山林等の持続的な保全のための森林ボランティアの育成・確保等に取り組みました。

- ・ 森づくり活動に関する情報の収集・発信
- ・ 森林サポーター（森林ボランティア）の募集登録
- ・ ボランティア活動に必要な資機材の貸し出し
- ・ 里山林整備の人材育成講座の開催（とちぎ里山塾）
- ・ 企業等による森づくりの活動支援（森づくりコミッション）
- ・ 企業と森づくり活動団体とのマッチング（とちぎ地域・森づくりフォーラム）



とちぎ里山塾
(座学研修)



とちぎ里山塾
(現地研修)

カ 各事業の実施状況一覧

事業区分	計 画			実 績		
	事業量	事業費 (千円) うち県民税		事業量	事業費 (千円) うち県民税	
1 とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業	657ha	1,446,975	794,990	486ha	1,426,481	791,517
(1) 再造林・樹種転換促進事業	657ha	1,382,234	730,249	486ha	1,365,010	730,046
(2) 次世代林業技術検証事業	1式	53,094	53,094	1式	50,093	50,093
(3) 事業推進費	1式	11,647	11,647	1式	11,379	11,379
2 とちぎの元気な森づくり里山林整備事業	2,765ha	251,170	160,030	2,038ha	161,410	99,592
(1) 里山林整備事業	1,065ha	166,170	75,030	711ha	94,273	33,552
(2) 里山林管理事業	1,700ha	85,000	85,000	1,327ha	67,136	66,040
3 とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業 ※	387ha	100,919	80,216	387ha	88,770	69,048
(1) 森林組合等地籍整備事業（地籍調査補助）	387ha	38,566	17,863	387ha	36,438	16,716
(2) 森林組合等地籍整備事業（地籍調査単独）		62,353	62,353		52,332	52,332
4 とちぎの元気な森づくり県民会議等事業	-	5,951	5,951	-	5,718	5,718
(1) とちぎの元気な森づくり県民会議事業	1式	731	731	1式	731	731
(2) とちぎの元気な森づくり県民普及啓発事業	1式	5,220	5,220	1式	4,987	4,987
5 とちぎの元気な森づくり地域活動支援事業	-	11,844	11,844	-	11,358	11,358
(1) 森づくりサポート事業	1式	11,844	11,844	1式	11,358	11,358
計		1,816,859	1,053,031		1,693,737	977,233

※事業量については、新規着手面積を記載。（地籍調査補助については、1箇所につき複数年かかることから、事業費のみを計上。）

(3) 森林の若返りと公益的機能の効果

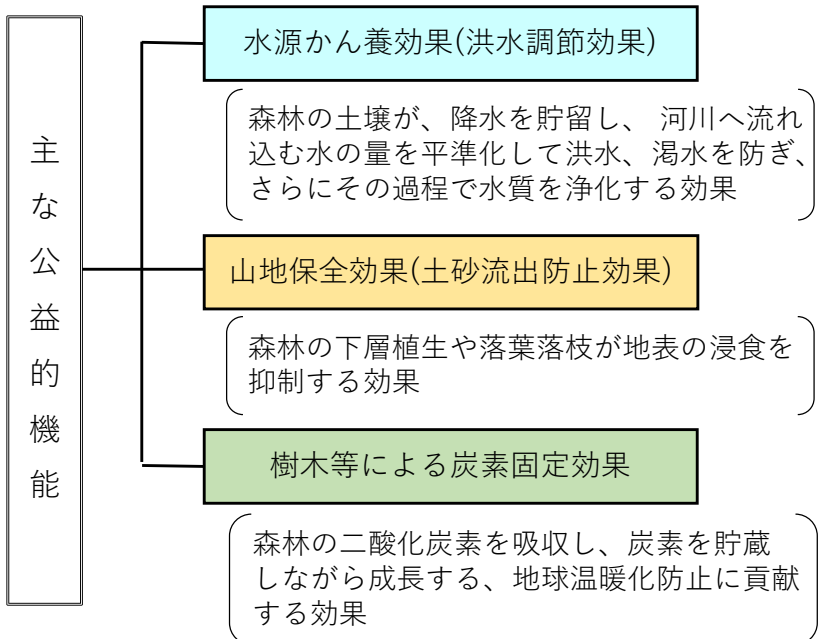
ア 森林の若返りの実績

10年間の計画6,000haのうち、令和5(2023)年度は486haの森林の若返り(植栽)を実施

区 分	事業量	
	計画 a	実績 b
森林の若返り(植栽)	657 ha	486 ha
累計(6年目/10年)	2,832 ha	2,312 ha

① 年度事業の実行率	(b/a)	74.0%
② 森林の若返りの目標達成度	(b(累計) [※] /6,000)	38.5% 《※10年中6年目累計》
	(b(累計)/a(累計) [※])	81.6% 《※10年中6年目までの目標累計》

イ 森林の若返りによる公益的機能の効果

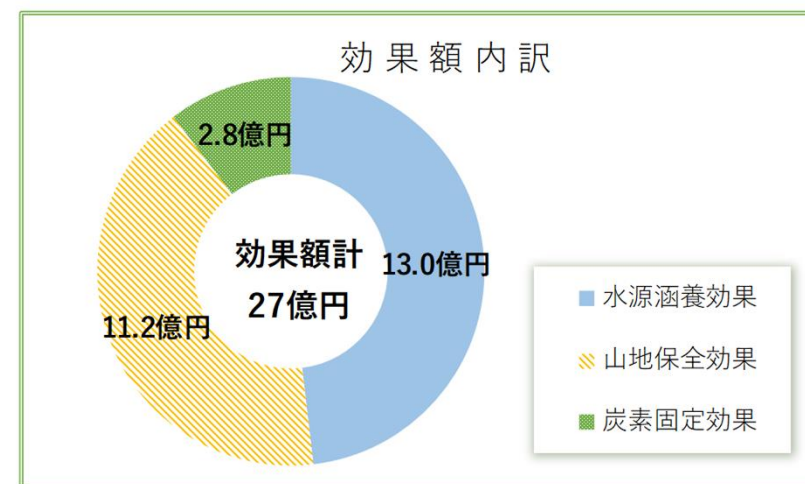


令和5(2023)年度に
森林の若返り(植栽)を
486ha 実施しました。



植 栽

事業実施後、60年間(※)に27億円の効果が発揮されます。
(※スギ林が更新を行うまでの期間：公共事業の評価準用)



効果額の算定は「林野公共事業における事業評価マニュアル」による

イ 森林の若返りによる公益的機能の効果

主な公益的機能の効果

水源かん養効果（洪水調節効果）

森林の若返り486haでは、雨水を地中に浸透させ、
大雨の時間当たり約55,000m³の水の流出を調節

55,000 m³：学校のプール約138個分

※ 学校の25mプールは約400m³

1時間あたりプール約138個分に当たる水の
流出を調節する働きが高まりました

60年間の効果額：13億円

（効果を治水ダムの年間減価償却費で計算）



山地保全効果（土砂流出防止効果）

森林の若返り486haでは、
年間約7,100m³の土砂流出を防止

7,100m³：大型ダンプ約1,300台分

※ 森林整備保全事業標準歩掛

：10tダンプの土砂積載量は1台当たり5.3m³

年間大型ダンプ約1,300台分の土砂流出を
防止する働きが高まりました

60年間の効果額：11.2億円

（効果を砂防ダムの建設コストで計算）



樹木等による炭素固定効果

森林の若返り486haでは、CO₂換算で
年間約1,800tCO₂の炭素が森林に固定

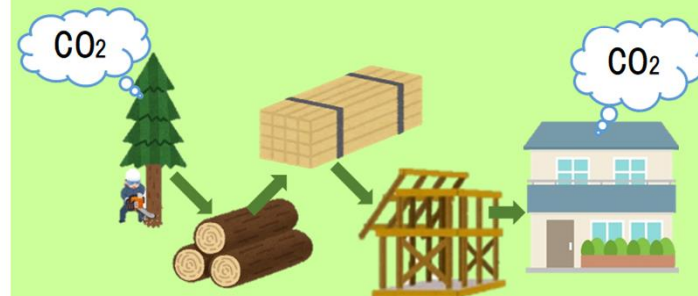
一般家庭約440世帯が
1,800 tCO₂：年間に排出する
二酸化炭素

※ 温室効果ガスインベントリオフィス：1世帯が年間に
排出するCO₂は3,971kgCO₂（2019）

毎年、一般家庭約440世帯が排出する炭素を
森林に固定する働きが高まりました

60年間の効果額：2.8億円

（効果を二酸化炭素排出量取引価格で計算）



3 森林環境譲与税事業の実績

「森林環境譲与税」とは
平成31(2019)年3月に「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が成立し、地球温暖化防止や国土の保全、水源の涵養など森林の有する公益的機能を発揮するための森林整備等（森林経営管理制度等）に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、「森林環境税」（令和6(2024)年度から課税）及び「森林環境譲与税」（令和元(2019)年度から譲与）が創設された。

森林環境譲与税は、市町村においては間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林整備及びその促進に関する費用」に、都道府県においては「森林整備を実施する市町村の支援等に関する費用」に充てることとされている。

本税により、山村地域のこれまで手入れが十分に行われてこなかった森林の整備が進展するとともに、都市部の市区等が山村地域で生産された木材を利用することや、山村地域との交流を通じた森林整備に取り組むことで、都市住民の森林・林業に対する理解の醸成や、山村の振興等につながることが期待される。

参考) 林野庁ホームページ

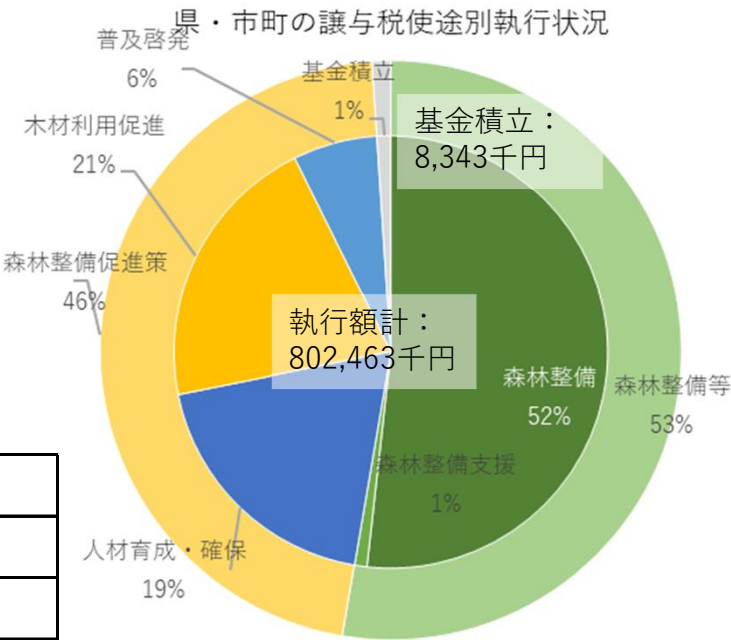
(1) 森林環境譲与税の執行状況

	譲与額 A	執行額 B	差額(基金積立) A-B	割合 B/A
県	97,296 千円	195,615 千円	-98,319 千円	201.1 %
市町	713,510 千円	606,848 千円	106,662 千円	85.1 %
計	810,806 千円	802,463 千円	8,343 千円	99.0 %

基金積立金の執行予定

県	森林整備促進		人材の育成・確保や木材利用・普及に活用（栃木県林業大学校整備費等）
市町	森林整備	18 市町	森林経営管理法等に基づく市町村自らによる森林整備に活用
	森林整備促進	14 市町	人材の育成・確保や木材利用・普及に活用

※市町の基金積立金執行方針…複数目的で積み立てている市町もあるため、計25市町とならない



(2) 森林環境譲与税事業の実施状況

県事業

譲与額 97,296 千円

区分	金額	譲与額に占める割合
市町への森林整備支援	7,484 千円	7.7 %
実践型活動支援事業費（市町職員への研修）	2,066 千円	2.1 %
森林情報共有化推進事業費（森林クラウド [®] システムの運用等）	5,418 千円	5.6 %
森林整備促進策	188,131 千円	193.4 %
人材の育成・確保（栃木県林業大学校開講準備費等）	127,179 千円	130.7 %
木材利用促進（木造・木質化への支援等）	60,952 千円	62.6 %
計	195,615 千円	201.1 %

市町への森林整備支援 実践型活動支援



市町職員への研修（座学）

市町職員への研修（現地）



森林整備促進策 人材の育成・確保

令和 6 (2024) 年 4 月に開校した
栃木県林業大学校の準備として、
講師確保、シラバス内容調整、
ホームページ・募集要項等の作
成等を実施

林業大学校 全景



開校パンフレット



林業大学校 上棟記念式典



森林整備促進策 木材利用促進



県民の皆様に対し、木材の
理解・利用促進を図るため、
多くの方々が利用するモデル
的な民間施設の木造・木
質化を支援



斎場

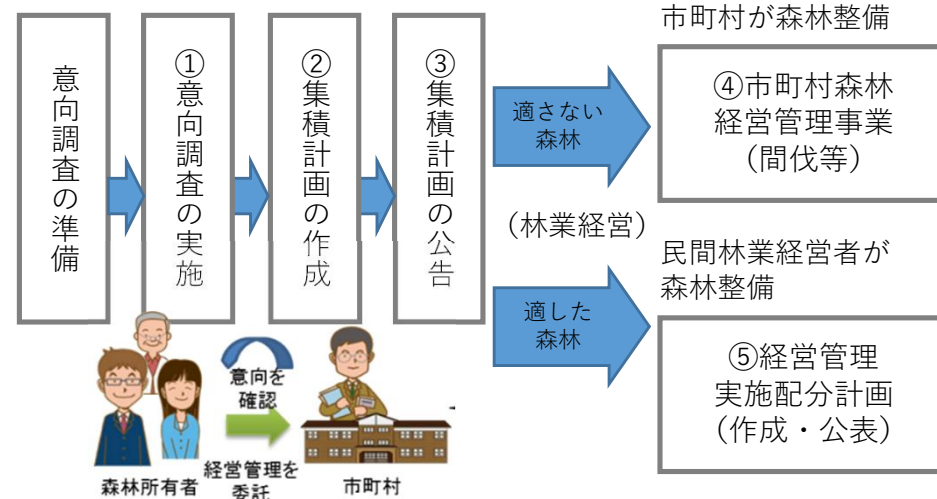
(2) 森林環境譲与税事業の実施状況

市町事業

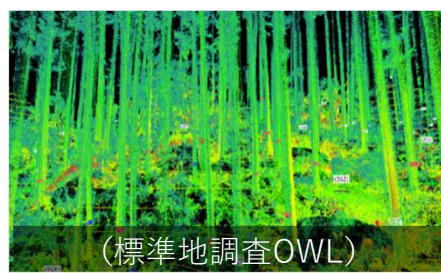
譲与額 713,510 千円

区分	市町数	金額	譲与額に占める割合
間伐等の森林整備	23 市町 92 %	419,655 千円	58.8 %
うち 意向調査	11 市町 44 %		
森林経営管理制度 集積計画	7 市町 28 %		
市町村森林経営管理事業	13 市町 52 %		
森林整備促進策	22 市町 88 %	187,193 千円	26.2 %
人材の育成・確保	14 市町 56 %	28,126 千円	3.9 %
木材利用促進	12 市町 48 %	108,211 千円	15.2 %
森林整備の普及啓発	21 市町 84 %	50,856 千円	7.1 %
計	25 市町 100 %	606,848 千円	85.1 %

～ 参考：森林経営管理制度の流れ ～



間伐等の森林整備 森林経営管理制度等



森林経営管理制度に基づく集積計画の作成



ナラ枯れ被害木の伐倒・立木くん蒸等を実施

森林整備促進策 人材の育成・確保



(運搬用ドローン)

スマート林業技術の導入を支援し、現場の生産性・安全性を向上することにより、森林整備を促進

森林整備促進策 木材利用促進



複合施設：市産材を内外装に活用した複合施設を整備

4 評価結果

(1) 両税(とちぎの元気な森づくり県民税・森林環境譲与税)の一体的評価

「とちぎの元気な森づくり県民税事業」・「森林環境譲与税事業」の透明性・公平性を確保するため、令和5(2023)年度事業の執行状況を確認し、適正に実施され、森林の公益的機能の維持増進が図られた。
また、令和4年度に中間見直しを行い、現場に合った獣害対策の強化や里山林の持続的な管理への支援を継続したため、一部の事業については改善された。

(2) とちぎの元気な森づくり県民税事業の評価(取組状況及び所見)

ア とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業

取組 状況	○計画 657ha 実績 486ha(前年度 383ha) 実施率74% ・計画値には届いていないものの、前年度より改善している。 ・限られた労働力の中で、皆伐・再造林のほか維持管理のための間伐等を一体的に進めている。 ・中間見直し後の獣害対策の強化により、獣害に苦慮する地域において、皆伐・再造林への意欲が向上する傾向が見られた。
所見	・労働生産性の向上を図るため、施行地の集約化の促進や新たな造林技術の検証を推進すること。 ・引き続き、獣害地での皆伐・再造林を促進するため、造林地における獣害対策への支援を行うこと。

4 評価結果

イ とちぎの元気な森づくり里山林整備事業

取組状況	○整備：計画 1,065ha 実績 711ha（前年度 940ha） 実施率67% ・実施面積については前年を下回った。 ・里山林の整備の活動に係る担い手の高齢化や後継者が不足している。 ○管理：計画 1,700ha 実績 1,327ha（前年度 1,395ha） 実施率78% ・実施面積については前年と同水準であった。 ・里山林の管理の活動に係る担い手の高齢化や後継者が不足している。 ・管理については、中間見直しにより支援期間を延長したことから団体の活動意欲が維持される傾向が見られた。
所見	・地域の担い手の確保・育成を推進すること。 ・新たな取組の掘り起こしや、幅広い世代に向けて事業内容・取組事例などの情報発信をより一層強化すること。 ・引き続き、里山林の整備・管理を促進するための支援を行うこと。

ウ とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業

取組状況	○計画 387ha 実績 387ha 実施率100% 地籍調査に航空レーザ計測等のデジタル技術を活用することにより計画的に進んでいる。
所見	引き続き、デジタル技術を活用することにより業務の効率化を図り、地籍調査を円滑かつ迅速に推進すること。

4 評価結果

(3) 森林環境譲与税事業の評価（取組状況及び所見）

森林環境譲与税については、本県の森林・林業における課題に対応した取組内容となっており「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」第34条の使途の範囲内及び令和元（2019）年度の使途の整理に基づき、適切に実施されていた。

取組 状況	県	○R5譲与額 97,296千円 実績 195,615千円（前年度 51,216千円） 執行率201%※ ・市町職員支援のための研修会の開催や森林クラウドの運営、本県の林業人材の確保・育成の中核を担う栃木県林業大学校の開校など積極的に活用されている。
	市町	○R5譲与額 713,510千円 実績 606,848千円（前年度 446,277千円） 執行率 85%※ ・森林経営管理制度に係る間伐や森林整備を促進するための木材利用などに活用されている。 ・公共建築物への木材利用等が進み、前年度から大きく執行率が上昇した。 ・一方で、専門的な職員の不在やマンパワー不足など、市町毎に課題が生じている。
所見	・引き続き、市町職員向けの研修会の開催や森林クラウドの運営など市町支援を行うこと。 ・市町毎に異なる課題を解決するための新たな対策を講じること。	

※執行率については、R5年度の実績額÷R5年度の譲与額で算出。
また、県の執行率については、これまで積み立てた基金の一部を活用したため、100%を超過している。

4 評価結果

(4) 使途（取組内容）・両税の事業一覧

取組内容			県民税事業	森林環境譲与税事業		
				県事業		市町事業
森 林 整 備	経営林	皆伐・再造林の促進 （未来の森整備）	528,419 千円	-	-	-
		獣害対策 （未来の森整備）	263,098 千円	-	-	-
		地籍調査 （森林所有対策）	69,048 千円	-	-	-
	非経営林	間伐等の森林整備	-	-	22 市町	395,505 千円
	市町 里山林整備 団体		-	-	5 市町	24,150 千円
			99,592 千円	-	-	-
森 促 進 策 備	人材の確保・育成		-	127,179 千円	14 市町	28,126 千円
	木材利用促進		-	60,952 千円	12 市町	108,211 千円
	森づくりに関する普及啓発		-	0 千円	21 市町	50,856 千円
	県民税の P R 等		17,075 千円	-	-	-
市町の森林整備支援			-	7,484 千円	-	-
計			977,233 千円	県・市町計		802,463 千円

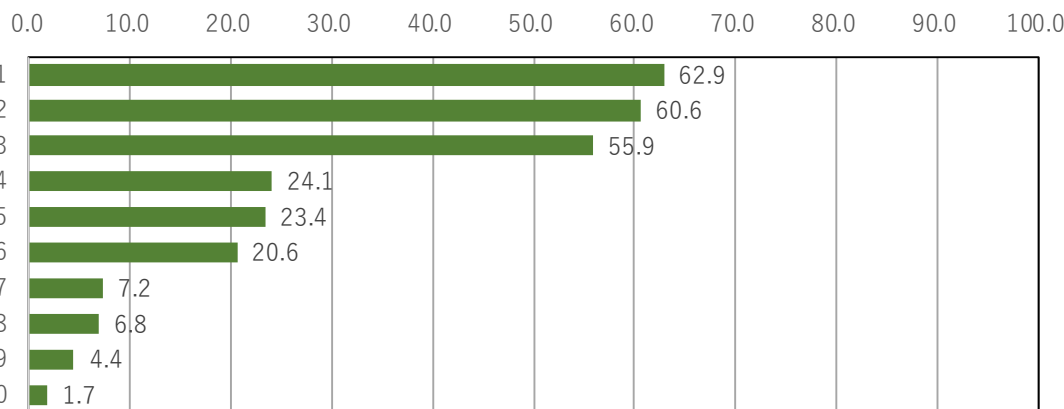
(参考) 県民意識調査結果

【森林の重要なはたらき】

森林には、様々な働きがあります。あなたが、特に重要だと考える森林の働きはどれですか。

次の中から3つまで選んでください。 [n=1,271]

	R 6 %	(R 5)
1 山崩れなどの災害を防止する働き	62.9	(64.8)
2 二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する働き	60.6	(63.3)
3 雨水を蓄え、洪水や渇水を防ぐ働き	55.9	(51.9)
4 多様な生物の生育・生息の場としての働き	24.1	(28.0)
5 自然に親しみ、人の心を和ませ安らぎを与える働き	23.4	(24.3)
6 空気をきれいにしたり、騒音を和らげるなど環境を快適に保つ働き	20.6	(19.9)
7 自然と人との関わりを学ぶなどの教育の場としての働き	7.2	(7.6)
8 生活に必要な木材や燃料チップ、きのこなどを供給する働き	6.8	(6.5)
9 わからない	4.4	(3.7)
10 無回答	1.7	(2.5)



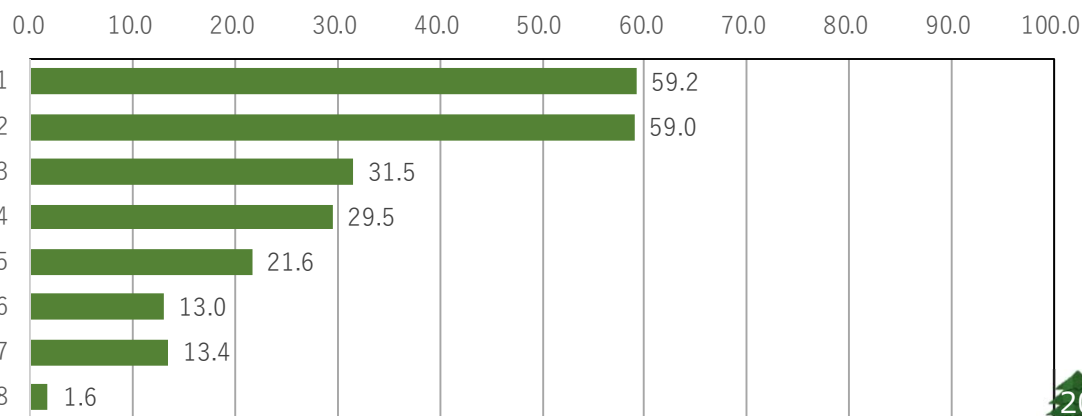
【とちぎの元気な森づくり県民税で特に重要と思う取組】

栃木県では、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して、本県の森林を元気な姿で将来へ引き継いでいくための様々な取組を行っています。

「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組の中で、あなたが特に重要だと思うものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。

[n=1,271]

	R 6 %	(R 5)
1 高齢化した森林の若返りを進めるため、皆伐後の植栽や下草刈り、シカによる苗木の食害など獣害対策への支援をすること	59.2	(59.4)
2 通学路等の見通しを良くしたり、イノシシなどの野生獣を人里に近づけないようにするため、身近な里山林の整備を支援すること	59.0	(57.8)
3 所有者や境界が不明な森林を適正に管理していく仕組みをつくること	31.5	(36.2)
4 手入れのできない針葉樹林を管理の容易な広葉樹林へ転換していくこと	29.5	(31.9)
5 里山林で活動するボランティアの育成や、地域での森づくり活動等への支援をすること	21.6	(26.8)
6 森林の働きや「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組を普及啓発すること	13.0	(14.1)
7 わからない	13.4	(11.6)
8 無回答	1.6	(1.3)



○ とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会委員名簿

(五十音順)

No.	氏 名	所 属
1	逢 沢 峰 昭	宇都宮大学農学部 准教授
2	飯 田 絵 里	フリーライター／アトリエ・ビーンズ 代表
3	石 川 尚 子	栃木県経済同友会／オリオンコンピュータ株式会社 代表取締役
4	大 貫 剛 久	栃木県林業振興協会 副会長
5	阪 田 和 哉	宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授
6	塚 本 竜 也	NPO法人とちぎ環境未来基地 代表理事
7	友 田 希 世	公募委員
8	豊 島 香 折	株式会社けんちくや前長 二級建築士
9	深 谷 卓 男	公認会計士・税理士
10	福 島 泰 夫	那珂川町長（町村会）
11	八 木 澤 統 隆	株式会社ヤギサワ 代表取締役社長

(任期：令和 6 (2024)年 6 月 1 日～令和 9 (2027)年 5 月31日)

お問合せ先

栃木県環境森林部環境森林政策課

TEL : 028-623-3302

FAX : 028-623-3259

e-mail : kankyo-shinrin@pref.tochigi.lg.jp

